

第 1 回稲毛区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【 1 】開催

日 時 平成 19 年 6 月 9 日（土） 午前 10 時～午前 11 時 50 分
場 所 稲毛区役所 3 階 講堂
出席者 委員 22 人（29 人中）、ガイドヘルパー 1 人、手話通訳者 2 人、
事務局 7 人（福祉サービス課 4 人、千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所
3 人）、保健福祉総務課 3 人

【 2 】次第

- 1 開会
- 2 福祉事務所長挨拶
- 3 委員自己紹介
- 4 事務局自己紹介
- 5 議題（ 1 ）委員長・副委員長の選任について
（ 2 ）地域福祉活動事例集の編集協力者の募集について
（ 3 ）地域福祉パイロット事業について
（ 4 ）19 年度区推進協議会のすすめ方について
（ 5 ）その他
 - 会議の開催について
 - 千葉市政出前講座について

【 3 】議題

（ 1 ）委員長・副委員長の選任について

館田福祉事務所長を仮議長として進行。

委員より策定委員会の委員長をされた経緯から「原田 正隆」委員と民生委員として地域で活躍されている「樋口 勉」委員を推薦したいとの意見があり、互選により委員長には「原田 正隆」委員が、副委員長には「樋口 勉」委員が選出された。

（ 2 ）地域福祉活動事例集の編集協力者の募集について

保健福祉総務課が地域福祉活動事例集の編集協力者の募集について、以下のとおり説明した。

町内自治会、社協地区部会、老人クラブ、民生委員・児童委員、NPO、ボランティア、社会福祉事業者等が地域福祉活動に取り組んでいる好事例をまとめた『地域福祉活動事例集（仮称）』の作成を予定している。掲載内容は、福祉活動のお手本となる好事例を各区 2 件程度選定し、活動のきっかけ、内容、問題点、感想等を掲載する予定である。

編集協力者については、各区 1 名程度の募集を予定している。保健福祉総務課、区福

社サービス課、社会福祉協議会区事務所と協力し企画・取材・編集・原稿作成のお手伝いをお願いしたい。

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

以下発言者について、保健福祉総務課は（保総課）とします。

（委員）発行部数が 1,500 部となっているが、稲毛区のみで 1,500 部発行なのか。

（保総課）市全体で 1,500 部発行予定である。その他に、市ホームページにも掲載予定で、ダウンロードできるように考えている。

（委員長）発行部数が少ないとの意見もあるが、予算の関係もあると思う。

（保総課）先程、途中退席（所属する地区部会の会議に出席する為）した飯田委員が立候補したいとのことでお話があった。

（委員長）具体的にどのようなことをするのか。

（保総課）掲載事例の選考、保健福祉総務課と 3 人体制で、実際に現場に出向きリポートを行っていただきたいと考えている。

（保総課）編集協力者の募集については、1 週間以内を目安に保健福祉総務課及び区福祉サービス課へ連絡をいただきたい。

（３）地域福祉パイロット事業について

事務局から地域福祉パイロット事業について、以下のとおり説明した。

地域福祉パイロット事業の昨年度実績は、市全体で 45 の地区部会により 63 の事業を展開し、また、稲毛区の実績としては、8 地区部会から 10 の事業を展開した。パイロット事業が各地区においてより良い事業となるために、地域福祉計画推進協議会の委員の方々より参考意見をいただき、各地区ではそれぞれ特徴のある事業が展開された。

現在、千葉市社会福祉協議会では、昨年度実施した 63 の地域福祉パイロット事業の活動報告書をまとめた冊子を作成しており、7 月上旬に完成予定である。

今年度も昨年度に引き続き、地域福祉パイロット事業を実施する。補助対象団体、対象となる事業等は昨年度とほぼ変更点はなし。補助金額は、1 事業につき 10 万円を限度とし、補助金総額は 300 万円である。5 月 1 日～5 月 31 日を募集期間とし、稲毛区内の公的機関へチラシを配布し募集した結果、3 件の申請があった。今年度については、今のところ追加募集の予定はない。

事務局が申請状況について説明を行なった。

現在、3 件申請あり 稲 丘地区部会（地域住民健康増進事業）

稲 毛地区部会（災害時一人も見逃さないための地図作り）

緑が丘地区部会（歩きたくなる街づくりを目指して）

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

（委員）災害時一人も見逃さないための地図づくりについて、1 人暮らしの障害者の方にも目を向けていただきたい。

- (委 員) 当自治会でも、災害時用のマップを作成した。しかし、個人情報の問題もあり、すべての方を掲載するわけにはいかないので、助けて欲しい方に自主申告していただき作成した。稲毛地区部会の方に災害時一人も見逃さないということで、1人も漏らさず助け出すためのやり方をお伺いしたい。
- (事務局) 当事業開催の部会長へ、質問の内容及び参考意見として報告する。
- (委 員) 地域住民健康増進事業について、講師として篠田氏となっているが、講師料は幾らぐらいなのか。
- (委 員) まだ、講師料は確定していないが、先方の先生は幾らでも良いとの返事をいただいている。
- (委 員) 大学教授ともなると、講師料が高くなる場合がある。講師謝礼が高すぎて事業に支障をきたさないように進めていただければと思う。
- (委員長) 前向きな意見として、参考にさせていただければと思う。
- (委 員) 先程、1人暮らしの障害者に目を向けて欲しいと言ったが、それだけではなく、助けて欲しいという人がいればマップに掲載していただきたい。

(4) 19年度区推進協議会のすすめ方について

事務局から19年度区推進協議会のすすめ方について、以下のとおり説明した。

19年度も引き続き、広報・PRを重点的に取り組みたいと考えている。どのような方法で広報・PRしていくことが効果的なのか、いかに地域福祉の精神を地域住民に根付かせていくか、委員の方々と話し合っていたきたいと考えている。

また、パイロット事業等、新たに地域で取り組んでいる福祉活動について、よい事例があれば、推進協議会で発表していただき、委員の方々と情報を共有し、皆さんの地域に浸透させていただきたいと考えている。

説明後、意見交換等が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

- (委 員) 次回にでも委員長及び副委員長の地域福祉計画推進協議会についての取り組みについての意見を伺いたい。
- (委員長) 私としては当然のことだと思っている。
- (委 員) 組織というのは、長によって大きく変わっていく。お二人の推進協議会についての考えをお聞きしたい。
- (委員長) 次回に発表もしくは、紙ベースで提示できればと思う。
- (委 員) この計画を遂行していくには、ある程度の年間計画を立てたほうがよいのではないかと。また、22年で見直しになるが、残り4年間のスケジュールがあったほうが委員としてのやりがいも出てくる。

(5) その他

会議の開催について

事務局から会議の開催について、以下のとおり説明した。

昨年同様、年４回（６月・８月・１１月・２月）の開催を予定している。開催曜日については、アンケート調査の結果、土曜日の午前中を希望の方が過半数いたので、１９年度の推進協議会は、土曜日の午前中に開催を予定している。

・特に質問なし

千葉市政出前講座について

保健福祉総務課から出前講座について、以下のとおり説明した。

地域福祉計画を推進するためには、市民の多くの皆様に計画を周知するのが重要である。昨年度は、推進協議会の広報・ＰＲとして推進協だよりの発行、市地域福祉計画、区地域福祉計画の公的機関への配布、市ホームページへの掲載を行った。更に、多くの市民の方に認知していただけるよう、今年度も引き続き広報・ＰＲ活動に重点を置きたいと考えている。地域の会合等の際に、千葉市政出前講座を活用していただき、地域福祉計画の広報・ＰＲにご協力をいただきたい。

（委員）休日にも市政出前講座は行っているのか。また、行っていれば、件数をお伺いしたい。

（保総課）１８年度は、介護保険関係、防災関係の講演依頼が多数を占めていた。開催曜日の件については、原則月曜日～金曜日でお願いしている。ただ、休日開催もご相談があれば、都合のつく限り対応をさせていただきたいと考えている。昨年度、「地域福祉計画について」市内７件の依頼があり、その内３～４件は土曜日、日曜日の開催であった。ただ、休日開催の場合は、事前に相談をいただき協議させていただきたい。

（委員長）７件というのは、どのようなところからの依頼だったのか。

（保総課）町内自治会、障害者団体、福祉施設等からの依頼があった。

１９年度区推進協議会のすすめ方について 議題（４）の続き

（委員）広報、連絡調整、情報交換、パイロット事業についての意見具申等、昨年度も行い、今年度も行っていくと思うが、昨年はあまり取り組めなかった、地域福祉計画の取組み状況の把握を重点的に取り組んでいけたらと思う。

各地区で足りない部分が地域福祉計画として挙がってきている。その後どうなっているかを、地区部会単位とか策定段階の地区単位に推進協議会メンバーを振り分けて少人数の話し合いができればいいのではないかなと思う。

（委員）昨年度は、推進協議会においてパイロット事業が優先されていたと思う。パイロット事業は、あくまで推進協議会の副的な役割ではないのか。パイロット事業の意見交換会や報告会も必要であると思うが、今年度は、２年間かけて策定した区地域福祉計画に力を入れていただきたい。

社協地区部会で既に取り組んでいる事業も多々あると思うが、区地域福祉計画１つ１つを精査しながら、３５の具体的な取り組みの状況を把握していくよ

う、今年度の推進協議会を進めていければと思う。

(事務局) この推進協議会の場は、様々な意見、情報を共有し、その情報を地域に持ち帰っていただき広めてほしい。公募の方、地域で活動されている地区部会の方等、様々な団体に属している方が参加されて議論をしている。地区部会の方々は、現実に地域に根ざした活動をしている。地区部会の方は公募の方の意見を参考により良い活動ができるようにしてほしい。また、公募の方も、この推進協議会で得た情報等を地域に持ち帰り、所属している団体があればそこで広めてもらい、所属している団体がなければ、地区部会に協力する、または、グループを立ち上げるなどして地域福祉推進の一躍を担って欲しいと考えている。

推進協議会という場は、情報の収集、発信、共有、交換の場として機能するものである。この場で、交わされた意見や情報を、それぞれの活動団体や地域に持ち帰り、新しい情報を地域で広く発信することだと考えている。

(事務局) 第2回の稲毛区推進協議会は、8月下旬頃を予定している。内容等については、事務局と委員長及び副委員長とで協議し決定したい。

以上